

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業428社を対象に実施し、365社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成20年1月～3月の実績、平成20年4月～6月の見込み、平成20年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。□

調査時期：平成20年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199□	171□	85.9%
非 製 造 業	229□	194□	84.7%
計	428	365	85.3%

日銀が4月15日に公表した、北陸の金融経済月報（2008年4月）によると、北陸の景気は、「エネルギー・原材料価格高の影響などから、減速している。最終需要をみると、輸出は引続き増加傾向にあるが、設備投資は高水準の投資を継続してきたこともあって、このところ一服感が窺われる。個人消費は横這い圏内の動きとなっている。公共投資や住宅投資は前年を下回っている。□

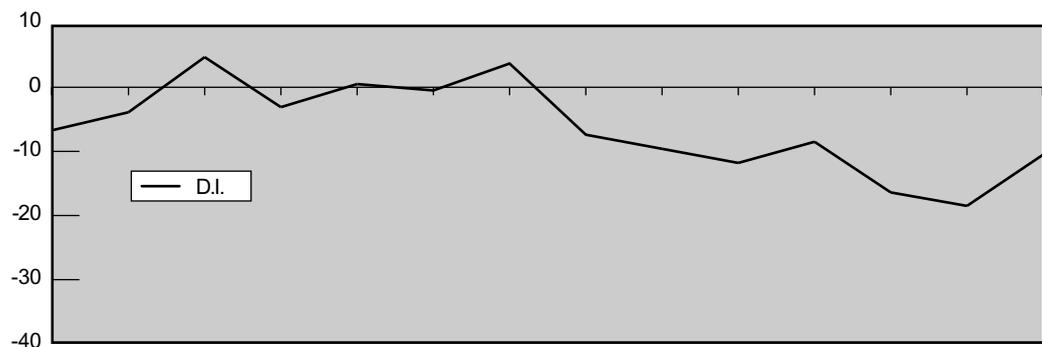
当地製造業の生産は、引続き増加している。こうした中、企業収益は、エネルギー・原材料価格高の影響などから減益となっているが、輸出の増加を背景に堅調を維持する大企業製造業と、国内需要の伸び悩みにより経営環境が厳しさを増している中小企業、非製造業との差が一段と広がりつつある」と発表している。□

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

種別	17 年			18 年			19 年			20 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	17.7	17.7	22.2	19.1	19.7□	18.3	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	12.6	6.9	9.4
普 通	57.9	60.7	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	58.4	67.8	70.8
悪 い	24.4	21.6	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	29.0	25.3	19.8
D . I .	-6.7	-3.9	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-16.4	-18.5	-10.5

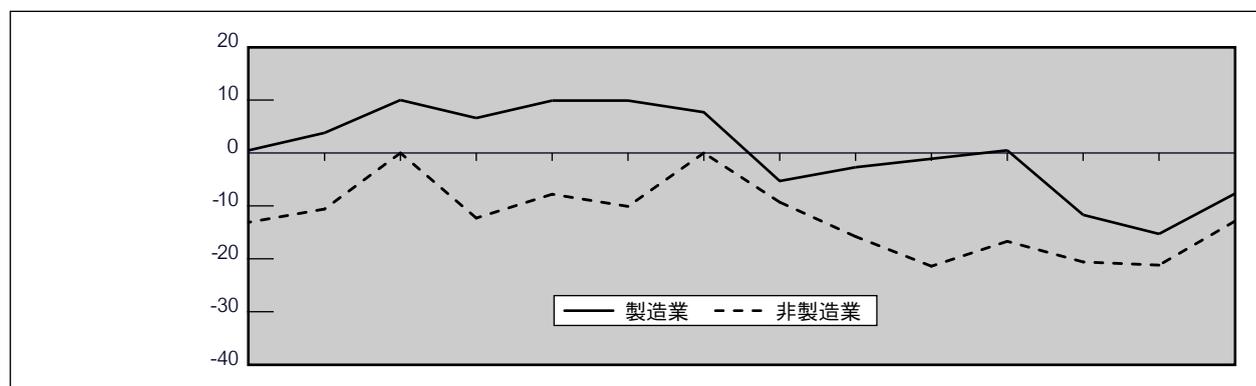


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		17 年			18 年				19 年				20 年		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	22.3	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	14.6	7.1	10.7
普	通	56.0	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	59.1	70.6	71.0
悪	い	21.8	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	26.3	22.4	18.3
D . I .		0.5	3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-11.7	-15.3	-7.7

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		17 年			18 年				19 年				20 年		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	13.6	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	10.8	6.7	8.2
普	通	59.6	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	57.7	65.3	70.6
悪	い	26.8	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	31.4	28.0	21.1
D . I .		-13.1	-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-20.6	-21.2	-12.9



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」は、20年1～3月期実績は▲16.4と前期比7.9ポイント悪化した。先行きについて、20年4～6月期のD.I.は、前期比2.1ポイント悪化する見込となっている。しかし、7月～9月の予想では、D.I.はマイナスであるが、改善予想となっている。
- (2) 業況判断指数D.I.の20年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より12.2ポイント悪化となり、マイナスとなった。非製造業も前期より3.9ポイント悪化した。先行きについてのD.I.は全業種で、悪化見込みであり、製造業については、前期プラスポイントとなったが、再びマイナスポイントの見込みとなっている。
- 製造業の業況判断指数D.I.は、先行きの20年4～6月期見込を▲15.3と3.6ポイント悪化見込となっている。しかし、20年7～9月期をマイナスD.I.であるが改善予想をしている。非製造業の業況判断指数D.I.についても、20年4～6月期予想は▲21.2とマイナスと悪化見込であるが、20年4～6月期は改善見込になっている。

## II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	35.9	36.4	35.4	35.0	35.0	33.8	36.0	31.6	28.5	26.0	31.5	30.1	24.6	21.4
横ばい	40.0	40.6	40.5	40.9	44.3	44.4	42.1	40.7	41.7	42.2	40.4	39.2	48.9	56.9
減少	24.1	23.1	24.1	24.1	20.8	21.8	21.9	27.7	29.8	31.8	28.2	30.7	26.5	21.7
D. I.	11.8	13.3	11.2	10.9	14.2	11.9	14.1	3.9	-1.2	-5.9	3.3	-0.5	-1.9	-0.3

売上高状況（うち製造業のみ）

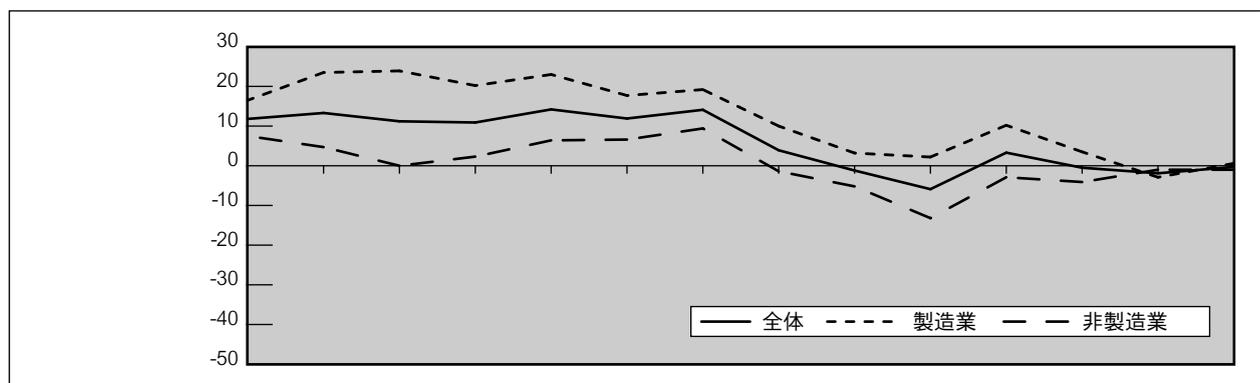
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	41.2	43.8	43.1	41.4	39.2	38.0	39.9	34.7	31.6	31.0	36.5	34.0	26.9	23.6
横ばい	34.0	35.8	37.8	37.4	44.5	41.7	39.4	40.5	40.0	40.2	37.1	3.5	43.3	53.3
減少	24.7	20.3	19.1	21.2	16.2	20.3	20.7	24.8	28.5	28.8	26.3	30.4	29.9	23.1
D. I.	16.5	23.5	23.9	20.2	23.0	17.7	19.2	10.0	3.2	2.2	10.2	3.5	-2.9	0.6

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	31.0	30.2	28.5	29.1	31.2	29.8	32.4	28.9	25.8	21.4	26.9	26.8	22.6	19.5
横ばい	45.5	44.2	43.0	44.1	44.0	46.9	44.6	40.8	43.2	43.9	43.3	42.3	53.8	60.0
減少	23.5	25.6	28.5	26.8	24.8	23.2	23.0	30.3	31.0	34.6	29.8	30.9	23.6	20.5
D. I.	7.5	4.7	0.0	2.3	6.4	6.6	9.4	-1.4	-5.2	-13.2	-2.9	-4.1	-1.0	-1.0



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。全産業の売上高状況D.I.は、19年10～12月期プラスとなったが、今回調査では、▲0.5と3.8ポイント悪化した結果となった。先行きについて、4～6月期は更に悪化予想となっているが、7～9月期には改善予想となっている。□
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業はプラスで推移しているが、19年からは低下傾向となっている。前期は改善していたが今期は前期比悪化した。非製造業19年1～3月期からD.I.はマイナスとなり悪化している。今期調査では、1.2ポイント悪化している。先行きについては改善するがマイナスが続く予想となっている。

### Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

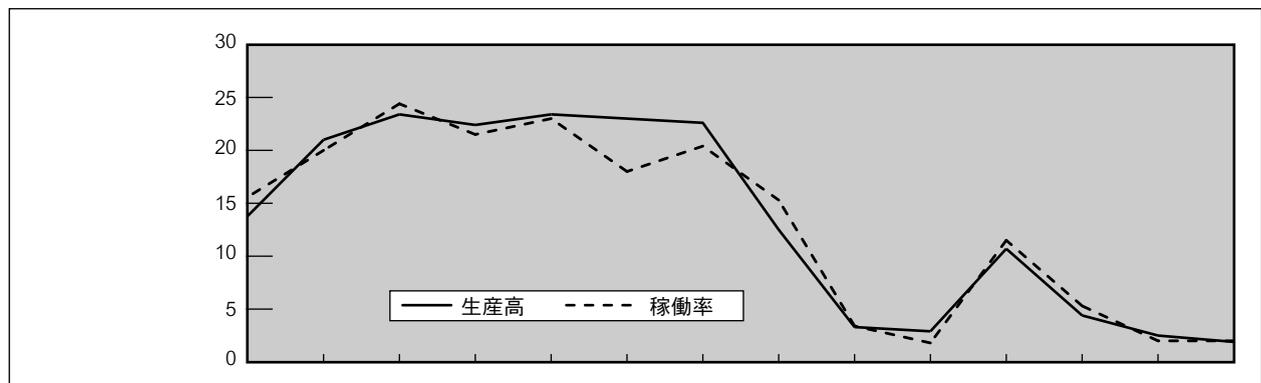
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
20%以上増加	8.5	9.9	12.5	11.7	7.6	10.7	8.4	6.5	4.4	8.1	7.9	4.4	3.8	3.1
20%未満増加	29.6	30.4	28.3	28.1	32.1	28.3	31.6	27.2	26.4	21.4	27.5	28.8	25.0	19.9
横ばい状況	37.6	40.3	41.8	42.9	44.0	44.9	42.6	45.1	41.8	43.9	39.9	38.1	45.0	55.9
20%未満減少	21.7	18.8	15.2	16.8	13.6	14.4	17.4	19.0	24.2	23.1	21.3	25.6	25.6	21.1
20%以上減少	2.6	0.6	2.2	0.5	2.7	1.6	0.0	2.2	3.3	3.5	3.4	3.1	0.6	0.0
D . I .	13.8	21.0	23.4	22.4	23.4	23.0	22.6	12.5	3.3	2.9	10.7	4.4	2.5	1.9

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
上 昇	9.4	11.7	13.3	12.0	8.2	9.3	5.9	5.1	5.6	5.9	6.9	4.6	2.6	2.6
やや上昇	27.1	23.9	25.6	27.2	28.4	25.1	31.2	28.2	20.8	18.9	25.3	27.8	23.7	18.4
横ばい	42.7	48.9	46.7	42.9	49.7	49.2	46.2	48.6	50.6	52.1	47.1	40.4	49.3	59.9
やや下降	17.7	13.3	13.9	15.2	11.5	15.8	16.7	16.9	20.8	18.3	17.8	23.8	21.7	17.1
下 降	3.1	2.2	0.6	2.6	2.2	0.5	0.0	1.1	2.2	4.7	2.9	3.3	2.6	2.0
D . I .	15.6	20.0	24.4	21.5	23.0	18.0	20.4	15.3	3.4	1.8	11.5	5.3	2.0	2.0



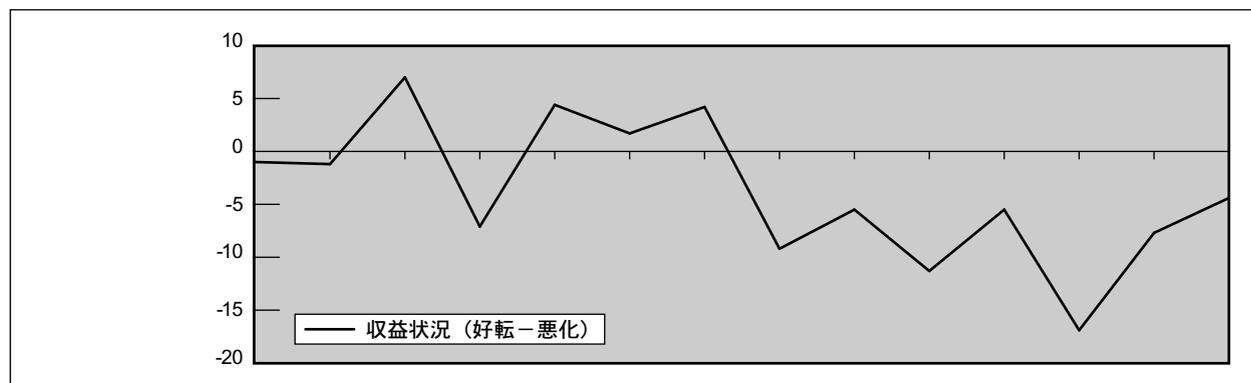
- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.「増加－減少」は、前期は10.7と改善していたが、今回20年1～3月期のD.I.は再び悪化し4.4となった。先行きについても、悪化予想となっている。
- (2) 一方の稼働率状況D.I.からも、18年全期間で稼働率が上昇状況であったが、生産高同様に19年4～9月期は上昇幅はやや落ち着き、横ばいとする企業が増加している。前期は改善していたが、今期は下降と回答した企業が増加し前期比悪化となっている。□稼働率も生産高D.I.と同様の動きをしており、先行きも悪化予想となっている。

## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	19.7	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	15.0	13.2
横 ば い	59.6	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	62.3	69.3
悪 化	20.7	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	22.7	17.5
D . I .	-1.0	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-7.7	-4.4



好転理由

(%) 見込 予測

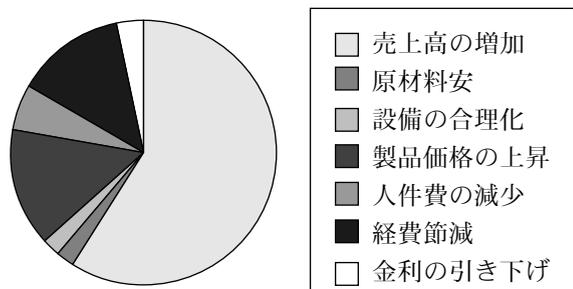
期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	69.7	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	67.9	62.0
原材料安	5.1	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	1.2	2.5
設備の合理化	0.0	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	2.4	3.8
製品価格の上昇	8.1	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	14.3	10.1
人件費の減少	2.0	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	3.6	7.6
経費節減	15.2	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	8.3	11.4
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	2.4	2.5

悪化理由

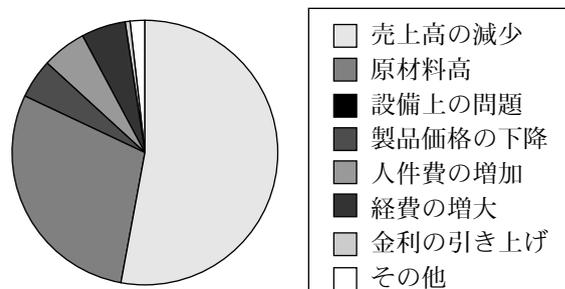
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	49.6	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	44.3	42.1
原材料高	19.8	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	34.4	34.6
設備上の問題	1.7	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	0.0
製品価格の下降	9.1	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	7.6	5.6
経費の増大	10.7	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	4.6	6.5
人件費の増加	5.8	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.6	5.6
金利の引き上げ	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	0.8	1.9
そ の 他	2.5	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	3.8	3.7

好転理由



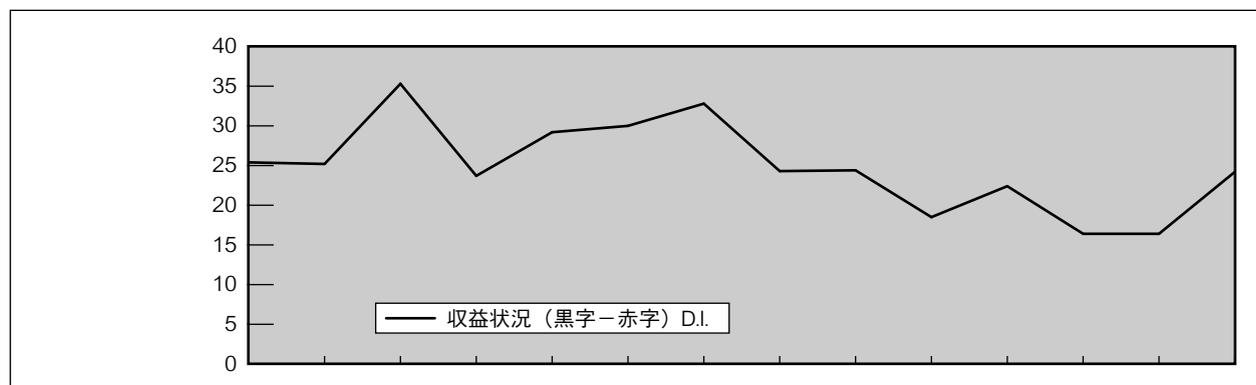
悪化理由



- (1) 1～3月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲16.9と前期比11.3ポイント悪化した。先行きについては、20年4～6月期D.I.は改善を予想している。7～9月期も更に改善予想となっているがマイナスポイントである。
- (2) 「収益状況が好転した」理由、1～3月期実績は、①売上高の増加、②製品価格の上昇、③経費削減となり、製品価格の上昇が2番となった。先行きでも、「売上高の増加」が大幅な理由となっており、「製品価格の上昇」が次に高い理由となり、ポイントが増加している。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、1～3月期実績は、①売上高の減少、②原材料高となった。売上高の減少とするポイントが大幅に増加し、原材料高とするポイントも増加している。先行きについても、原材料高を理由とする企業が、更に増加している。4～6月期は34.4%、7～9月期は34.6%と30%を越す理由となった。悪化理由として、原材料高とする企業が増加傾向にある。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	17年												18年			19年				20年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	見込	予測						
黒字	44.8	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	38.1								
収支トントン	35.7	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	46.9	48.1								
償却後赤字	19.5	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	18.3	13.9								
D.I.	25.4	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	16.4	24.2								



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、19年1～3月期より低下してきている。20年1～3月期も19.4と前期比3ポイント悪化となった。先行きについても16.4と悪化の見込となっている。
- しかし、7～9月期では、24.2と改善見込となっている。黒字とする企業が、40ポイント台から、30ポイント台へと減少してきており、横這いとする企業が増加してきている。

## V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	4.7	3.6	3.3	3.2	3.6	3.9	3.6	2.4	2.8	4.4	1.6	1.7	2.7	2.7
適正	79.7	81.9	83.0	86.0	83.8	85.5	86.4	84.9	84.9	82.6	85.5	86.3	88.2	88.9
過剰	15.6	14.5	13.6	10.8	12.6	10.6	10.0	12.7	12.3	13.1	12.9	11.9	9.1	8.4
D. I.	-10.9	-10.8	-10.3	-7.6	-9.0	-6.6	-6.4	-10.3	-9.5	-8.7	-11.3	-10.2	-6.4	-5.7

製品在庫水準（うち製造業のみ）

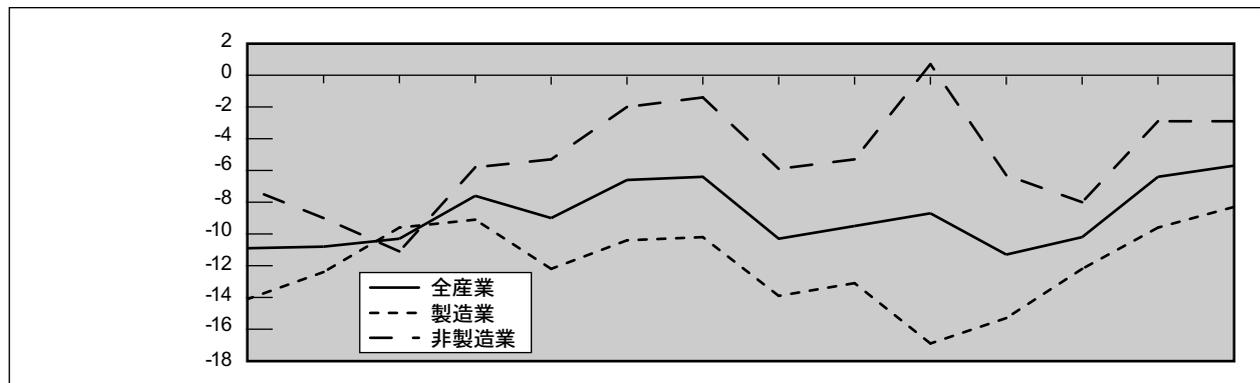
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	3.2	4.0	4.5	4.3	3.9	3.3	3.7	1.1	2.3	2.3	1.1	1.3	1.9	2.5
適正	79.5	79.7	81.4	82.3	80.1	83.0	82.4	83.9	82.3	78.5	82.4	85.3	86.6	86.6
過剰	17.3	16.4	14.1	13.4	16.0	13.7	13.9	15.0	15.4	19.2	16.5	13.5	11.5	10.8
D. I.	-14.1	-12.4	-9.6	-9.1	-12.2	-10.4	-10.2	-13.9	-13.1	-16.9	-15.3	-12.2	-9.6	-8.3

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	6.5	3.2	2.0	1.9	3.3	4.7	3.5	4.0	3.3	6.7	2.1	2.2	3.6	2.9
適正	80.0	84.5	85.0	90.4	88.2	88.6	91.6	86.1	88.0	87.2	89.4	87.6	90.0	91.4
過剰	13.5	12.3	13.1	7.7	8.6	6.7	4.9	9.9	8.7	6.0	8.5	10.2	6.4	5.7
D. I.	-7.1	-9.0	-11.1	-5.8	-5.3	-2.0	-1.4	-5.9	-5.3	0.7	-6.3	-8.0	-2.9	-2.9



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、20年1～3月期は▲10.2となった。18年に入り製品在庫の過剰感は、17年より改善していたが、今期再び二桁台と過剰感が増加してきた。今期も、前期比減少しているものの、二桁となっている。製造業は、改善傾向にあるが、非製造業は▲8.0と過剰が高いポイントの状況になっている。

(2) 20年1～3月期、業種別では、百貨店・スーパーの過剰感が増加している。木材業は依然、過剰感が高く、高岡銅器も▲33.3と悪化している。

先行きについては、高岡銅器は依然高いが、百貨店・スーパーは改善予想となっている。

□

## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

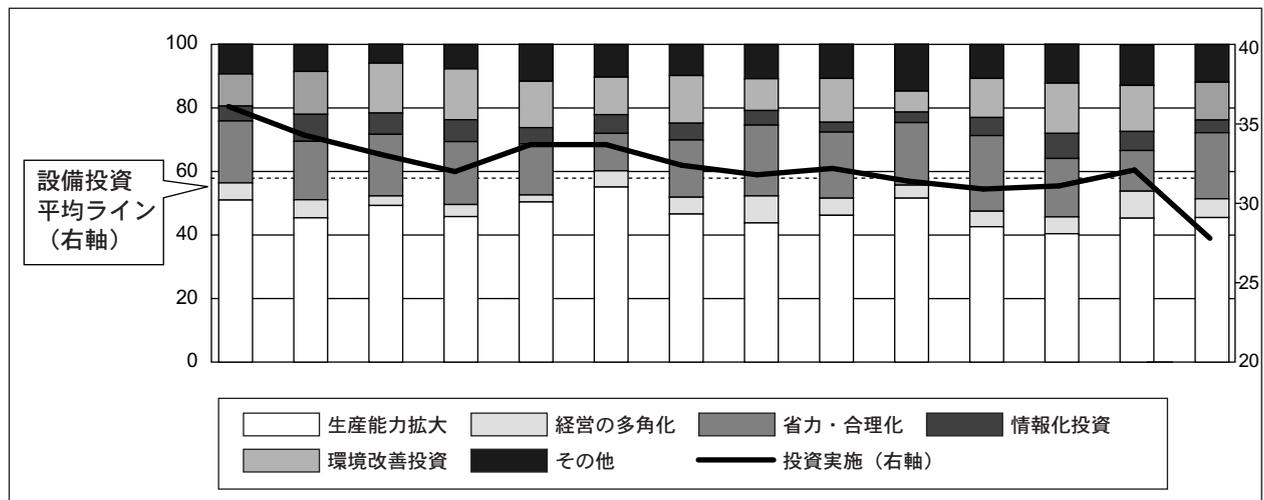
(%) 見込 予測

種別	17年			18年				19年				20年		
	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
投資実施	36.1	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	32.1	27.8
投資せず	63.9	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	67.9	72.2

設備投資の目的（実施先について）

(%)

生産能力拡大	51.0	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	45.3	45.5
経営の多角化	5.4	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	8.5	5.9
省力・合理化	19.5	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	12.8	20.8
情報化投資	4.7	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	6.0	4.0
環境改善投資	10.1	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	14.5	11.9
その他	9.4	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	12.8	11.9



- (1) 20年1～3月に設備投資を実施した企業は全産業の31.1%であり、19期連続で30%を上回った。20年1～3月期実績を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は36.3%、非製造業は26.8%となっている。

20年1～3月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が40.4%次に省力・合理化が18.4%となっている。

- (2) 20年4～6月期に設備投資を予定している企業は全体の32.1%で、30%以上が行う予定である。設備投資の目的は今期と同じ、生産能力の拡大がトップとなっている。

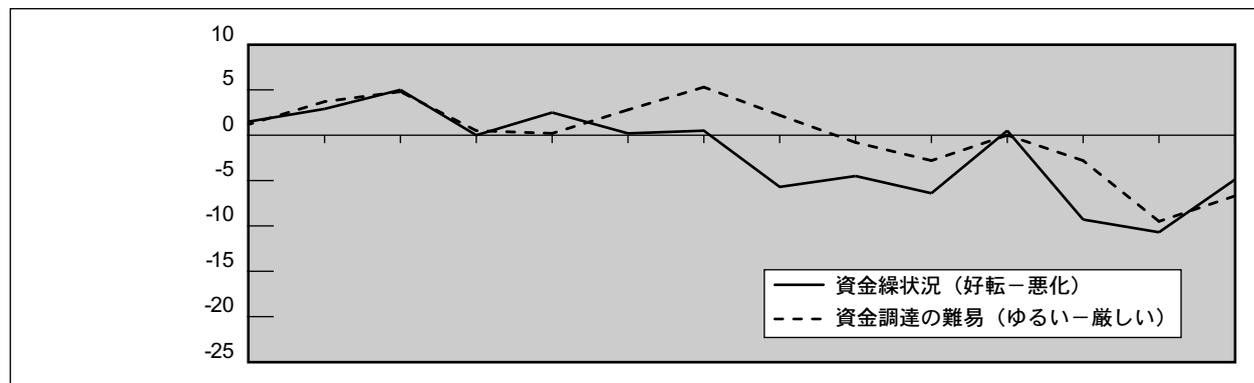
20年1～3月期において設備投資実施企業の割合が50%を超えたのは、電子部品製造、運輸業宿泊業となった。先行きでも、電子部品製造が設備投資を予定している企業が高い。

## VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	9.2	10.3	11.7	11.0	10.8	9.2	11.0	8.1	6.8	5.9	10.4	7.4	7.1	7.1
変わらず	83.0	82.4	81.6	77.9	80.9	81.9	78.4	78.1	82.0	81.7	79.6	76.0	75.1	80.9
悪 化	7.8	7.3	6.7	11.0	8.3	8.9	10.5	13.8	11.3	12.4	9.9	16.7	17.8	12.0
D . I .	1.5	2.9	5.0	0.0	2.5	0.2	0.5	-5.7	-4.5	-6.4	0.5	-9.3	-10.7	-4.9



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆるい	13.1	14.4	14.1	12.2	11.5	13.2	13.8	13.6	11.6	10.6	10.4	12.2	10.0	9.7
厳しくない	75.1	74.9	76.6	75.1	77.3	76.3	77.8	75.0	76.1	76.0	79.3	72.8	70.5	73.8
厳しい	11.8	10.7	9.3	12.7	11.2	10.4	8.5	11.4	12.3	13.4	10.4	15.0	19.5	16.4
D . I .	1.2	3.7	4.8	-0.5	0.2	2.8	5.3	2.2	-0.8	-2.8	0.0	-2.8	-9.5	-6.7

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は18年はプラスであったが、19年1～3月期からはマイナスとなり、悪化となっている。1～3月期は▲9.3と前期比悪化となった。先行き、4～6月も悪化予想となっている。

(2) また、資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」においても、19年10～12月期0.0となっていたが、今期1～3月期は▲2.8と厳しいのポイントが増加している。業種別では、厳しいと感じているのは、不動産業が最も高くなり、宿泊業、繊維土木業の順となっている。

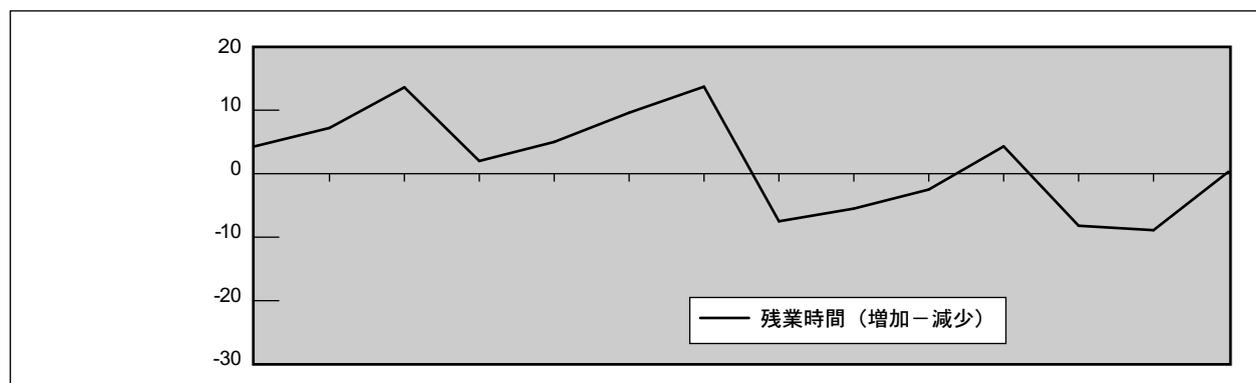
先行きについては、再び宿泊業が高く、資金調達に苦慮している様子がうかがわれる。□

## VIII. 労務事情

### 残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	19.6	19.1	24.6	19.5	19.4	17.2	22.5	15.6	14.0	15.1	18.7	14.3	9.9	14.5
横ばい	65.0	69.1	64.3	63.1	66.2	75.3	68.7	61.3	66.6	67.2	67.0	63.1	71.2	71.3
減少	15.3	11.8	11.0	17.4	14.4	7.5	8.8	23.1	19.5	17.7	14.4	22.5	18.8	14.2
D.I.	4.3	7.2	13.6	2.0	5.0	9.6	13.7	-7.5	-5.5	-2.5	4.3	-8.2	-8.9	0.3

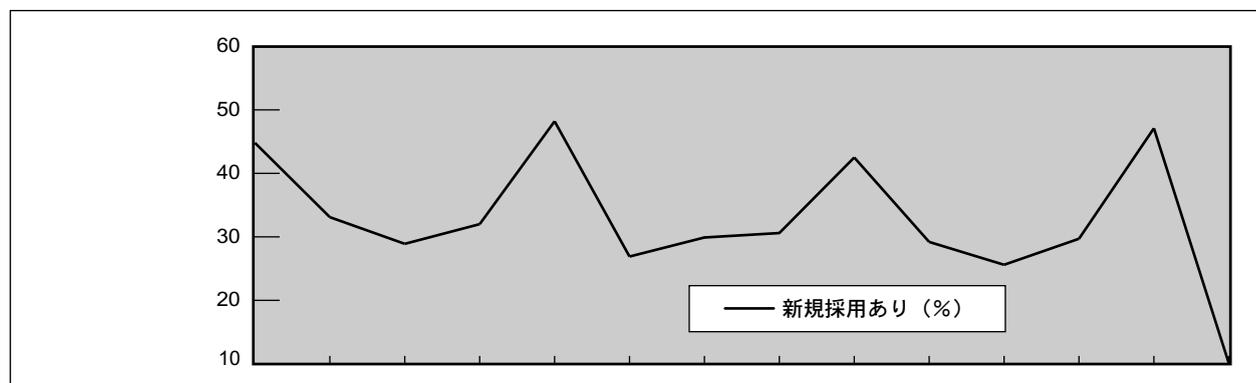


- (1) 残業時間 (増加-減少) D.I.19年10～12月期は増加しプラスポイントとなったが20年1～3月期は再び減少の回答が増加され、残業時間は改善された結果となった。先行きについては、4～6月期も減少が高いポイントとなっているが、7～9月期は残業が増加する予想となっている。

### 新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
全産業	44.8	33.1	28.9	32.0	48.2	26.9	29.9	30.6	42.5	29.2	25.6	29.7	47.1	10.1
(うち製造業)	48.2	32.5	29.3	35.5	44.5	25.9	29.9	28.1	41.6	25.4	27.7	30.9	46.0	6.2
(うち非製造業)	41.7	33.6	28.5	28.7	51.5	27.8	30.0	32.7	43.3	32.5	23.7	28.7	48.1	13.6

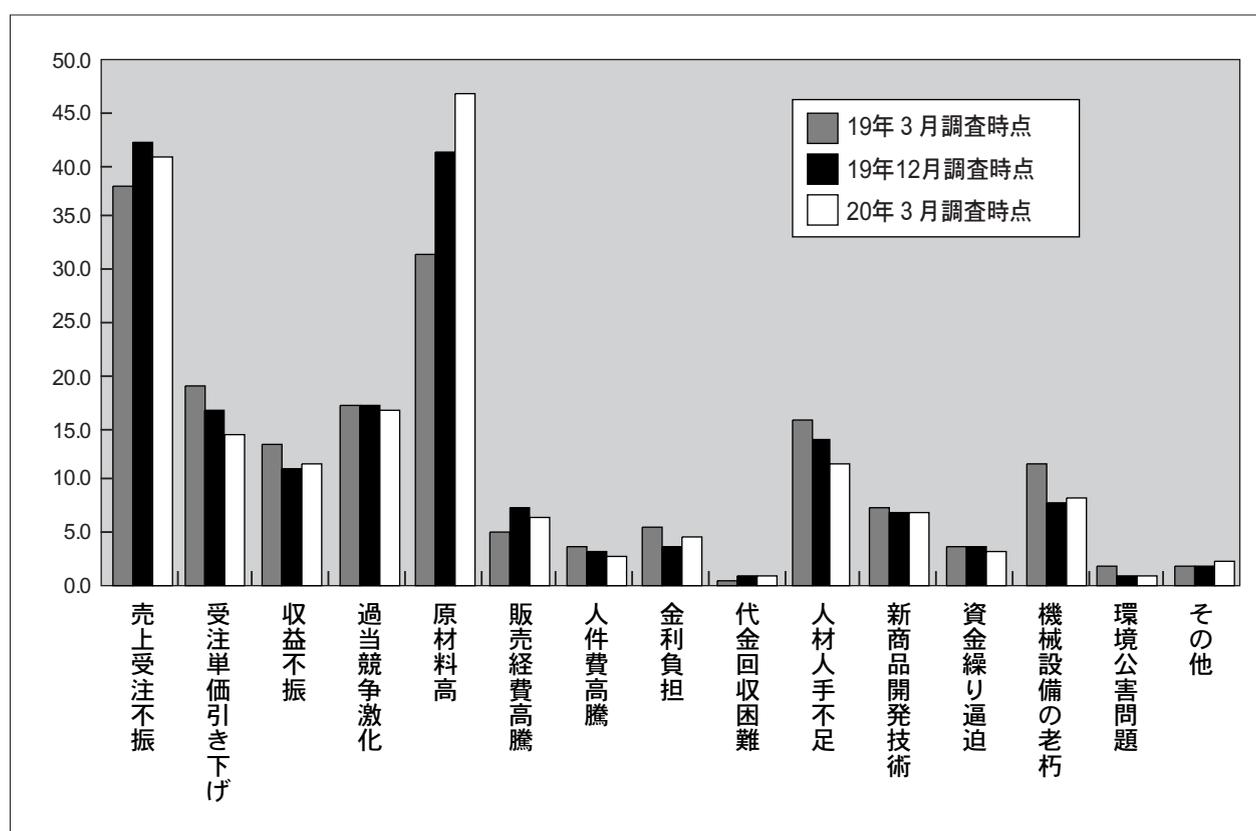


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業について1～3月期に29.7%の企業が採用を行っている。前年同期より0.9ポイント減少している。4～6月の採用は全産業とも増加し、47.1%の企業が新規採用を予定している。

## IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	19年3月 (前年)	19年12月 (前回)	20年3月 (今回)	20年3月		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	37.9	42.3	40.8	(36.3)	(44.8)	-1.5
受注単価引き下げ	19.1	16.5	14.2	(15.8)	(12.9)	-2.3
収益不振	13.2	10.9	11.5	(10.5)	(12.4)	0.6
過当競争激化	16.9	17.0	16.7	(7.0)	(25.3)	-0.3
原材料高	31.5	41.3	46.8	(59.1)	(36.1)	5.5
販売経費高騰	4.9	7.3	6.6	(4.1)	(8.8)	-0.7
人件費高騰	3.9	3.3	2.7	(1.8)	(3.6)	-0.6
金利負担	5.6	3.8	4.4	(2.9)	(5.7)	0.6
代金回収困難	0.5	1.0	1.1	(0.6)	(1.5)	0.1
人材人手不足	15.6	13.7	11.5	(12.3)	(10.8)	-2.2
新商品開発技術	7.3	7.1	7.1	(12.3)	(2.6)	0.0
資金繰り逼迫	3.7	3.8	3.3	(1.8)	(4.6)	-0.5
機械設備の老朽	11.5	7.8	8.5	(11.1)	(6.2)	0.7
環境公害問題	1.7	1.0	1.1	(1.2)	(1.0)	0.1
その他	1.7	1.8	2.2	(1.2)	(3.1)	0.4



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①原材料高46.8%(前期比+5.5ポイント)、②売上受注不振40.8%(前期比▲1.5ポイント)、③過当競争激化16.7%(前期比▲0.3ポイント)の順となっている。
- (2) 今回調査では、原材料高を問題点とする企業が大幅に増加した結果となっている。製造業では、50%以上の企業が原材料高を当面の経営上の問題点としている。
- (3) これを製造業と非製造業に分けてみると製造業では原材料高59.1%、非製造業は売上受注不振44.8%が最も高いポイントとなっている。